

令和2年度富山県老人クラブ連合会事業報告

人口減少・少子高齢化が進む今日、県老人クラブ連合会は、住みなれた地域社会で可能な限り自立した生活をめざすとともに、全国三大運動「健康・友愛・奉仕」の経験を活かし、若い世代と共に手を携え「新たな絆社会」の創造をめざします。

令和2年度も「のばそう！健康寿命、担おう！地域づくり」を合言葉に「安全で活力ある社会」そして「ゆとり・うるおい・やすらぎ」に満ちた地域社会をめざして諸事業を実施しました。

1. 会務の運営

(1) 役員会等の開催

| 開催 (表決) 月日 | 会 議 名 | 主 な 議 題 | 開催場所等 |
|------------------|-------------|--|---------|
| 2. 4. 22 | 市町村老連事務局長会議 | 1. 令和2年度事業計画並びに収支予算について | 県総合福祉会館 |
| 5. 8 | 監事会 | 1. 令和元年度事業報告並びに計算書類について | 県総合福祉会館 |
| 5. 8 | 第1回正・副会長会議 | 1. 令和元年度事業報告並びに計算書類について | 県総合福祉会館 |
| 5. 14 | 第1回理事会 | 2. 女性委員会委員の補充選任について 1. 令和元年度事業報告並びに計算書類について 2. 女性委員会委員の補充選任について | (書面表決) |
| 6. 2 | 第1回評議員会 | 3. 第1回評議員会を決議の省略による方法とすること及びその目的事項について 1. 令和元年度事業報告について 2. 令和元年度計算書類について | (書面表決) |
| 8. 4 | 第1回女性委員会 | 1. 女性委員の補充について 2. 地域料理伝承教室について 3. 外出自粛中の過ごし方(意見交換) | 県総合福祉会館 |
| 8. 4 | 会長表彰選考委員会 | 1. 令和2年度県老連会長表彰者の選考 | 県総合福祉会館 |
| 12. 4 | 第2回理事会 | 1. 「米寿のつどい」について(県高齢福祉課) 2. 令和3年度主要行事予定について | 県総合福祉会館 |
| 12. 4 | 第2回女性委員会 | 1. 「地域料理伝承教室」について | 県総合福祉会館 |
| 3. 1. 7 | 第2回正・副会長会議 | 1. 令和3年度重点事業について | 県総合福祉会館 |
| 2. 19 | 第3回正・副会長会議 | 1. 令和3年度事業計画並びに収支予算(案)について | 県総合福祉会館 |
| 2. 24 | 第3回女性委員会 | 1. 「地域料理伝承教室」について 2. 「新湊すし塾」体験講習について | 県総合福祉会館 |
| 3. 4 | 第3回理事会 | 1. 令和3年度事業計画について 2. 令和3年度収支予算について 3. 職員給与規程の一部変更について | 県総合福祉会館 |
| 3. 19 | 市町村老連事務局長会議 | 1. 令和3年度重点事業並びに主要行事予定について | 県総合福祉会館 |

2. 会議及び大会への参加

(1) 中央会議及び全国大会

- ・全老連 第1回評議員会 6月22日書面表決
- ・全老連 第2回理事会 6月29日書面表決
- ・全老連 第3回理事会 7月22日書面表決
- ・全老連都道府県・指定都市老連事務局長会議 9月10日 → 中止
- ・第33回全国健康福祉祭りふ大会「ねんりんピック岐阜2020」
10月31日～11月3日 → 延期
- ・第30回地域文化伝承館 10月31日～11月2日 → 延期
- ・第49回全国老人クラブ大会（山形県） 11月17日・18日 → 中止
- ・全老連 第4回理事会 令和3年1月15日書面表決
- ・全老連都道府県・指定都市老連代表者会議
令和3年2月2日 → リモート開催
- ・全老連 第5回理事会 令和3年3月11日書面表決

(2) ブロック会議等

- ・東海・北陸ブロック老人クラブリーダー研修会（三重県）
6月25日・26日 → 延期
- ・東海・北陸ブロック県・指定都市老連事務局長会議（富山市）
7月6日・7日 → 延期
- ・東海・北陸ブロック県・指定都市老連会長・女性代表者会議（福井県）
令和3年2月25日・26日 → 延期

3. 主要事業の概要

(1) 高齢者の生きがいと健康づくり・介護予防活動の推進

ア 県老連が行う健康づくり・介護予防事業の積極的な推進

① 健康づくりセミナー

新しいメニュー形式での研修会開催に向けて準備を行っていたが、折からの新型コロナウイルス感染拡大の影響を鑑みて開催を見送った。

② 地域料理伝承教室

県老連女性委員が中心となって、地域料理の伝承、食から始まる健康寿命の延伸及び会員相互の一層の交流を目的に地域料理伝承教室を開催した。

射水市 12月8日(火) 救急薬品市民交流プラザ 参加者14名

なお、当年度において他に複数回の開催を予定していたが、新型コロナウイルスの感染状況を鑑みて開催を見送った。

③ 「すし塾」体験講習

県老連女性委員会及び健康・スポーツ部会のメンバーによる「食べることから健康づくり・

仲間づくり」を標榜し、各地域へのさらなる展開を目指して、にぎり寿司づくりの体験教室を開催した。

3月24日(水) 新湊すし塾（射水市北野） 参加者14名

④ シニア・スポーツの一層の普及

北陸三県とのシニア・スポーツ交流に向けた情報交換を行ったほか、市町村老連開催の各種スポーツ大会への後援を通じて、支援・協力を努めた。

イ 市町村老連が行う健康づくり・介護予防事業に対する指導・支援

① 市町村老連が開催する各種「健康づくり講座」に対し、フレイル予防や感染予防対策に関するパンフレットの提供等による支援・協力を行った。

② スポーツ用具、体操指導用DVD等の貸与・提供を行うなど支援を行った。

ウ 各種競技大会等の開催・参加

対面又は多人数参加イベントである老人囲碁・将棋大会及び県老人クラブ大会は、感染予防に配慮して中止した。

なお、従前より県老人クラブ大会において県老連会長表彰式を行ってきたが、大会の開催を見送ったことにより、表彰状及び記念品を、各市町村老連を通じて授与した。

<県老連会長表彰>

| | |
|----------|------|
| ・育成功労者 | 19名 |
| ・優良老人クラブ | 17団体 |
| ・永年勤続職員 | 1名 |

また、県主催の「米寿のつどい」についても、新型コロナウイルス感染症による参加者の健康面・安全面を優先して、富山・高岡2会場とも参集イベントは中止され、祝状及び記念品の郵送のみとされた。

(2) 高齢者の生活を支える地域支え合い活動の推進

ア 在宅福祉を支える訪問支援活動の推進

① 市町村老連が行う訪問支援活動に対する補助金交付

コロナ禍において、訪問支援活動員が支援先を訪問することが困難な状況であったが、電話等の代替手段も含めて、単身高齢者や高齢者のみの世帯等に対する見守りや情報提供などを継続すべく、訪問支援活動支援事業補助金を次のとおり交付した。

令和2年度実績 14市町村老連（富山市を除く） 4,575,000円

② 訪問支援活動リーダーの育成及び資質向上

高齢者訪問支援活動推進リーダー養成研修会を県内5会場で6回開催し、災害への備え、口腔ケア、フレイル予防のための食生活、認知症への理解、免疫力の向上など、訪問支援

を行う際に必要となる実践的な知識や技術の講習を行った。

なお、開催に当たっては、受講者数を例年より減らし、換気及び手指の消毒を徹底したほか、グループワークをなくすなど、新型コロナウイルス感染拡大予防に十分配慮したうえで開催した。

| | | | |
|---------|------------|---------------|---------|
| 富山地区(1) | 9月8日、9日 | 県総合福祉会館 | 受講者数13名 |
| 富山地区(2) | 9月16日、17日 | 県総合福祉会館 | 受講者数14名 |
| 射水地区 | 9月28日、29日 | 救急薬品市民交流プラザ | 受講者数25名 |
| 魚津地区 | 10月1日、2日 | ありそドーム | 受講者数20名 |
| 砺波地区 | 10月19日、20日 | 砺波まなび交流館 | 受講者数31名 |
| 高岡地区 | 10月29日、30日 | 高岡市ふれあい福祉センター | 受講者数25名 |

<研修内容>

第1日目

- ・「訪問支援活動の概要」 講師：県老連女性委員
- ・「高齢者の災害への備えについて」 講師：NPO法人富山県防災士会
- ・「健康なお口で歯つらつ生活（オーラルフレイルにならないために）」
講師：認定歯科衛生士 開発 章子 氏
- ・「富山県の高齢化の状況と高齢者福祉施策について」
講師：県高齢福祉課
- ・「認知症を学び地域で支えよう（認知症サポーター養成講座）」
講師：県高齢福祉課、県厚生センター

第2日目

- ・「フレイル予防のための食生活」 講師：(公社)富山県栄養士会
- ・「認知症予防の基礎知識」 講師：認知症ケア専門士 本間 恵子 氏
- ・「フレイル予防と免疫力の向上」 講師： 〃

③ 市町村老連友愛活動実践者研修会の開催

友愛活動実践者に幅広い知識の習得を図った。

2月24日(水) 県総合福祉会館 福祉ホール 受講者数35名

- ・「アタマとココロがすっきりする眼球体操」

講師：Je respire(株) 松島 雅美 氏

④ 訪問支援活動事例集の発行

市町村老連における訪問支援活動の事例を取りまとめ、広く紹介することにより、訪問支援活動の一層の充実に努めた。

作成部数 2,400部

イ 地域見守り活動への参加・協力

高齢者が長年培ってきた知識・経験・技術を活かし、地域社会を豊かにする諸活動を積極的に展開した。

ウ 地域に密着したボランティア活動

① 環境美化活動、環境にやさしい活動

全国一斉「社会奉仕の日」活動を全県下で取り組んだ（会員約58,000人参加）ほか、通年にわたって、地域の美化活動や環境にやさしい活動に対する啓発を行った。

② 次世代育成支援、地域文化伝承活動

高齢者の知識と経験を活かした世代間交流活動を支援したほか、地域における様々な伝統行事への参加を促すことにより、地域に根ざした文化活動を次世代へ伝承する活動を進めた。

エ 関係機関・団体との連携

高齢者を取巻く環境や課題が複雑化する中、高齢者の健康保持及び生活の安定・向上を図るため、県・市町村及び社会福祉協議会その他関係団体と連携を密にして、情報収集に努めた。特に、コロナ禍において老人クラブ活動を行う際の留意事項など他団体との情報交換に努めた。

(3) 会員の増強・組織活動の一層の推進

ア 多様な会員増強策

団塊の世代が70歳代後半に向かうなど高齢者が増加する一方、老人クラブ会員の減少が続いていることから、新規会員の加入促進のため、通常の勧誘促進に加えて、事例提供や体験参加など多様な形での会員増強に向けて情報提供に努めた。

イ 全老連、東海・北陸ブロック老連及び市町村老連との事務・事業の連携強化

全老連、東海・北陸ブロック老連及び市町村老連と老人クラブを取り巻く諸問題について、コロナ禍にあって既存の会議の中止が余儀なくされる中、機会を捉えて情報共有を図るなど連携強化を図った。

- | | | |
|------------------|--------------|---------|
| ・市町村老連事務局長会議（再掲） | 4月22日(水) | 県総合福祉会館 |
| ・市町村老連事務局長会議（再掲） | 令和3年3月19日(金) | 県総合福祉会館 |

ウ 女性会員の活動促進

老人クラブ会員の過半数を占める女性会員による会員増強活動や組織活動の充実を図るべく、女性委員会活動などを通じて女性会員活動の活性化を図った。

なお、7月に開催を予定していた女性リーダー研修会については、コロナ禍の影響を鑑みて開催を見送った。

エ 機関誌の発行・配付による活動広報

機関誌「元気とやまシニア」（とやま県老連だより）を発行し（年2回）、各単位クラブ及び関係者・関係機関に加えて、新たに県内市町村立図書館に配布することにより、一般の方にも老人クラブ活動を紹介し、未加入者の加入につながるようにするなど、会員増強に努めた。

また、例年、記事として掲載する研修会や大会が中止となったことを契機として、コロナ禍でのフレイル予防や災害への備え、自粛期間中の過ごし方など、高齢者に必要な情報を幅広く取り上げた。

発行部数 9月号 21,000部、 3月号 21,000部

オ 老人クラブ会員章等の普及促進

会員意識の高揚と連携を目指して、仲間のシンボル「老人クラブ会員章」のほか、活動日誌、会計簿、老人クラブ手帳の普及を図った。

また、老人クラブ活動中のケガや事故に備えた老人クラブ傷害保険、賠償責任保険等の周知と加入促進に努めた。

(4) 各種研修会、大会等の開催及び参加による会員の資質向上

ア 研修会の開催

当年度においては、新型コロナウイルスの感染拡大により、従来からの研修会を十全に開催できなかったが、感染の盛り上がり避けつつ次のとおり研修会を開催した。

・高齢者訪問支援活動推進リーダー養成研修会（再掲） 9月～10月 5会場6回

・友愛活動実践者研修会（再掲） 2月24日(水) 県総合福祉会館

なお、老人クラブリーダー研修会については、開催案内後、感染状況を踏まえ、急遽中止に至ったが、老人クラブリーダー必携の配付により、リーダーとして必要な情報の周知を図った。

イ 大会・研修会等への参加

新型コロナウイルスの感染拡大により、県老人クラブ大会をはじめとして、全国老人クラブ大会（山形県）、ねんりんピック岐阜大会のほか、全老連「活動推進員等職員セミナー」、「高齢者の健康づくり・生活支援セミナー」、東海・北陸ブロックリーダー研修会の開催が見送られた。

なお、全国老人クラブ大会については、大会要覧（全老連会長表彰受章者名簿、記念講演概要、活動交流部会報告資料、特別寄稿「コロナ禍におけるフレイル予防」等）及び大会宣言を、また、「高齢者の健康づくり・生活支援セミナー」については、研修内容を収録した研修要覧及びDVDを市町村老連に配付し、それぞれ内容の周知を図った。

（全国老人クラブ大会については香川県にて、ねんりんピックについては岐阜大会を繰り延べして、令和3年度開催見込み）

(5) 高齢者の安心・安全な暮らしのための事故防止及び防犯活動等の積極的な推進

ア 交通事故防止活動の推進

令和2年の交通死亡事故における高齢者の割合が8割を超える中、県警と連携した交通安全情報の提供や、反射材付きグッズの配付等を通して交通事故の防止に努めた。

イ 日常生活における事故防止に向けた啓発活動の推進

用水路への転落事故防止に向けて県の広報・周知活動に積極的に協力したほか、ヒートショック・熱中症など日常に潜む事故予防に向けて周知・啓発に努めた。

ウ 特殊詐欺等の被害防止に向けた情報提供

富山県内において再燃する特殊詐欺被害を未然に防ぐため情報提供に努めた。